

関係各位

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

令和 2 年度病虫害発生予察特殊報第 4 号を送付します。

---

令和 2 年度病虫害発生予察特殊報第 4 号

1 病虫害名 タバコノミハムシ *Epitrix hirtipennis* (Melsheimer)

2 発生作物 ナス

3 発生確認の経過、発生状況

(1) 発生確認の経緯

令和 2 年 12 月、県東部の施設ナスほ場において、葉を食害するハムシ類の成虫が確認された（写真 1、2）。

採集した成虫を農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、本県ではこれまで未確認のタバコノミハムシであることが判明した。

(2) 他府県等での発生状況

本種は、中央～北アメリカを原産とする外来種である。

国内では、平成 23 年に群馬県において初めて発生が確認され、その後、関東・東海地方を中心に分布拡大し、令和元年以降、奈良県、滋賀県、大阪府、岡山県、広島県など近畿、中国地方の府県でも発生が確認され、これまでに 19 府県から発生の報告がある。

これまでに発生が認められている事例は、減農薬、無農薬栽培が行われているほ場がほとんどである。

4 形態・生態

(1) 形態

成虫の体長は 1.5～2.5mm、長楕円形でやや扁平であり、密な短刺毛に覆われ、後脚の腿節が顕著に肥大している。体色はやや光沢のある赤褐色で、上翅には不明瞭な黒斑がある（写真 1、2）。

(2) 生態

ナス科植物を食害し、国内ではこれまでにナス、トマト、ジャガイモ、ホオズキなどへの加害が報告されている。

成虫は刺激を受けると、後脚により大きく跳ねる。卵は地表に産み付けられ、ふ化した幼虫は地中で根を食害した後、地表近くで蛹化する。

原産地（北アメリカ）では、年に 4 世代を経過し、成虫は落葉下で越冬することが報告されているが、国内での生活史は不明である。

## 5 被害の特徴

成虫は葉の表皮を残して食害、もしくは葉を貫通して食害する。このため、直径1～2mm程度の白い斑点状の食害痕や円形の穴が多数観察され（写真3）、葉が生長すると被害痕が円形の大きな穴となる（写真4）。

## 6 防除対策

- (1) 現時点で、ナスおよびその他の作物において本種に適用登録のある農薬はない。
- (2) 栽培終了時には、近隣の作物へ本種が移動しないように、蒸し込み処理を行った後に残渣を処分する。

お問合せは、病害虫防除所（TEL：088-863-1132）または環境農業推進課（TEL：088-821-4861）まで



写真1 成虫（背面）



写真2 成虫（側面）

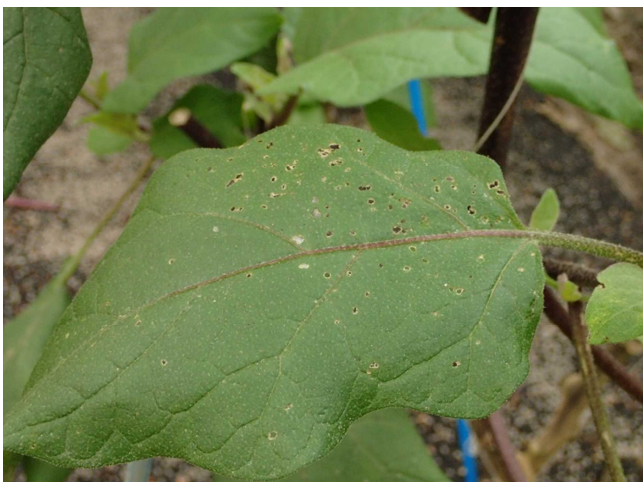


写真3 被害葉1



写真4 被害葉2